

ななーる訪問看護ステーションの
purpose



なな一るは何のために存在するのでしょうか？

心身が不調な人も
安心して暮らせる街を創るためです。

Our purpose

心身が不調な人も
安心して暮らせる街を創る



そんな街を創るために課されたミッションは？

生命を護り、
その命が生きるように支援すること

Our mission

「生きる」を「活きる」に導く看護

なな一るの看護師は、生命を護り「生きる」ことを援助するだけでなく、生きる意味を共に考え、心を支え、気持ちに活力を与えて「活きる」ように導けるような看護をめざします。

「活きる」とは？

生きている価値を発揮すること。

その人が生きることにより、もっと前向きに生きようとして生命力が向上すると考えます。

それにより、看護の力で病める人を健康へと導きます。

生きるを生きるに導くためには どんな行動をしたらいい？

希望を持つことを原点に、
5つの行動指針を定めました

Our value

希望を
持つ

信頼を
得る

先端を
ゆく

協力
する

成長
する

「生きる」を「生きる」に導く看護は看護師だけのミッションではありません。
私たちのバリューは全職種の価値観です

- 希望を持つ 相手を理解し気付かぬニーズを見つけて到達可能な希望を設定、
希望に導く
- 信頼を得る 希望を実現に導く伴走者としての信頼を得られるような行動をする
- 先端をゆく ニーズに応じて希望を叶えるために、先端の情報を獲得して実行する
- 協力する 社内・社外のメンバーと協力し合って希望を叶える
- 成長する 仕事を通して自らが成長して自己実現をめざす

Our purpose

心身が不調な人も
安心して暮らせる街を創る

Our mission

「生きる」を「活きる」に導く看護

Our value

希望を
持つ

信頼を
得る

先端を
ゆく

協力
する

成長
する

そのためには何をしたらいいの？

看護師バージョン

希望を持つ

そのためには何をしたらいいの？

相手を理解し、気付かぬニーズを見つけて
到達可能な希望を設定、希望に導く

看護の原点 ☆☆☆自信を持って出来る ☆☆出来る ☆指導を受けながら出来る

相手を理解

- ① 身体を理解 フィジカルアセスメント力: 観察して体の状態が査定する
- ② 心の理解 メンタルアセスメント力 : 対話して心理状態が査定する
- ③ 環境の理解 室内・家族の言葉などを鑑みて、その人が置かれた状況が査定する

気付かぬニーズを見つけて

- ① 現状や病状変化の予測から必要な対応を導く
- ② 対話から本意を見抜き本人も気づいていないニーズを捉える
- ③ 環境から今後の自宅療養の可能性を推測しながら意思決定を支援する

到達可能な希望を設定 看護の目標設定

希望に導く 看護計画の具体案の立案と実行

希望(目標)を持って生きること、その人が生きられる
これが「生きる」を「生きる」に導く看護の原点

看護師バージョン

信頼を得る

先端をゆく

協力する

そのためには何をしたらいいの？

目指す行動 ☆☆☆出来ている ☆☆☆2/3は出来ている ☆半分くらいは出来ている

【信頼を得る】

希望を実現に導く伴走者としての信頼を得られるような行動をする

①場に応じた接遇 ②的確な看護技術 ③知識に基づく対応

【先端をゆく】

ニーズに応じて希望を叶えるために、先端の情報を獲得して実行する

①事例検討 ②自己学習 ③研修参加 ④学会参加

【協力する】

社内・社外のメンバーと協力し合って希望を叶える

①情報交換 ②協調性 ③建設的発言 ④主体的行動

看護師バージョン

成長する

そのためには何をしたらいいの？

仕事を通して自らが成長して 自己実現をめざす

☆☆☆自律して出来る ☆☆援助があれば出来る ☆これからの課題

セルフマネジメント&クレドの実行

自分を律し、自分の能力を最大限発揮してパフォーマンスを上げる

なな一で仕事をするを通して、社会に求められる人財として成長し
自己実現を果たして満足できる人生になる。

「7」は幸運の数字だといわれます。私たちは7つのクレドを胸に行動することで、地域のみなさまと強い関係(Relation)を結びたいという想いから、ステーションを「なな一(7×Relation)訪問看護ステーション」と名付けました。

正直で誠実に 対等な目線で 想像し創造する 共に生きる

チャレンジする勇氣

発想の転換

意思決定のサポート

■ なな一るの看護師の視点とは？

なな一る訪問看護ステーションは、利用者さんの生命を護り、その生命を活かす看護を提供します。利用者さんに向きあい「この人の生きる力を奪っている要因は何？」という視点で観察し、生きる力を奪っている要因を解消していく行為が、
なな一るの看護行為です。

■ 大切にしたいのはどんなこと？

目指すのは「来てくれたらホッとするとと思われること。ホッとするとと思われる看護を継続するため、以下の3点を大切にします。

- ① 不安に対するメンタルアプローチ 「来てくれるだけで元気になるわ」
- ② エビデンスに基づいた的確なケア 「ケアを受けると気分がよくなるわ」
- ③ 課題に対するスピーディーな解決 「すぐ動いてくれたから助かった」

■ 看護場面で判断に困ったらどうしたらいい？

なな一るの看護のものさしは「生きるかどうか？」。

「自分の行動が利用者さんの生きるにつながるか？」という視点で考えます。

その「生きる」ことが、生命力を惹き出す源なのだという考え方です。

なな一る訪問看護ステーションには、細かなマニュアルは作りません。なぜなら、マニュアルに従うのではなく、物事の本質を考えて、この場ではどうすることが適切かを常に考え、行動できる集団でありたいと願うからです。

しかし職員全員の基礎を整えなければなな一るの看護を積み上げることができません。そこで、社会常識・基礎看護術・解剖生理学など、訪問看護を判断するための基礎・基本を明確に提示し、全員の習得を目指します。

まずは基礎・基本を習得

一般的な基礎・基本を全員が理解・修得することで、なな一るの独自性を創れる人財の基礎を整えます。

「生きる」を「活きるに」導く看護

